



11/09 木 BODIK 研修メニュー 無料開講

11/10 金 BODIK オープンデータサミット

第8回ふくおかDX祭り in SRP「BODIKオープンデータサミット」（11月10日開催）のイベントとして、BODIK研修メニューを無料開講します。

自治体職員向けオープンデータに触れて学ぶ5時間。

BODIK 10周年記念キャンペーンとして、通常有償で開催している座学とハンズオン8コマ（選択受講可）を当日に限り無料提供します。

講師は、オープンデータに最前線で取り組んでいるBODIKチーム。オープンデータはこれからという初心者の方から、更なるデータ活用をお考えの方まで、奮ってご参加ください！



先着 40名

研修参加お申し込みは
二次元バーコードから



Day1 11月9日(木) 研修プログラム (入門からデータ利活用まで)

時刻	研修メニュー	概要
11:00	オープンデータ実務研修 (座学)	オープンデータの基礎知識 (定義・ライセンス・事例ほか)、関連部署と連携して庁内でオープンデータを推進するために必要な能力を習得します。
	昼休み	
13:00	データ利活用の起爆剤 APIとは何か(APIがなぜ良いのか)	APIとは何なのか、何のために必要なのかを理解し、API連携を実現するためには、元データが重要で、API化するには、最初がタイトル行のCSVが提供されている必要があることの重要性について理解する。
13:30	オープンデータ作成をいろいろな面で支援 BODIK APIとユーティリティ+アプリ デモ	オープンデータ利活用支援として「BODIK Utility」と「BODIK API」のご紹介と簡単なデモを実施します。「BODIK Utility」は皆様のオープンデータ公開業務をサポート、「BODIK API」はオープンデータの利活用を促進します。どちらも「こんなことができるんだ」を感じてください。
14:00	公開したオープンデータを簡単に可視化 WordPressで可視化 (データのビジュアライズ)	オープンデータを登録した後にそのデータを地図に表示したいと思われたことはありませんか？WordPressを使用した可視化の方法を学びます。
14:30	生成AIとの上手な対話方法を学ぶ 生成AI (ChatGPT) の使い方と行政への応用	生成AI (ChatGPT) の特徴、行政を含めた利用シーンを理解します。後半は有用な結果を得るための方法を学びます。公共データの分析例もご紹介。
15:00	休憩	
15:30	オープンデータを活用した近未来事例 福岡市 人流データ活用事例	2022年度から九州大学と共同で実施している「福岡市繁華街におけるAIカメラ人流計測実証実験」にて蓄積される「属性付き人流データ」の可視化・分析事例を紹介。Google Looker Studioを活用した人流ダッシュボードの作成とGoogle Colaboratoryによるデータ分析について具体的に学びます。
16:00	リアルタイムオープンデータが市民サービスを 変える！ 市民サービス直結体験	オープンデータは、庁内でデータを持つ全課が推進していく必要があります。この研修は、全庁職員がジブンゴトで体験できる避難所運営を想定した内容となっており、これを通してデータを更新する重要性や市民サービスに直結することを体験できる全庁職員向けの研修です。
16:30	市職員が簡単に作れるオープンデータを利用した アプリ体験！ Glideで観光アプリを作ってみる	オープンデータを活用したアプリは市民だけでなく職員自らも簡単に作ることができることを体験。プログラムを書くことなくアプリ開発の体験を通して、オープンデータとして必要な形式について学ぶことができます。
17:00	まとめ	

Day2 11月10日(金) BODIKオープンデータサミット (於：第8回ふくおかDX祭り in SRP)

オープンデータやシビックテックの有識者を招き、講演・ワークショップを開催。オープンデータについて対話しましょう！

公益財団法人九州先端科学技術研究所 (ISIT) オープンイノベーション・ラボ

お問い合わせ

福岡県福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル5F

☎ 092-852-3453 🏠 <https://www.bodik.jp/> ✉ bodik-info@isit.or.jp